
「ロービジョン外来を受診した患者さんの背景とケアの調査」研究に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年4月1日から2023年11月30日の期間に埼玉医科大学病院アイセンターロービジョン外来を受診した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ロービジョン外来を受診される患者さんは、視覚機能に関する多様な困難を抱えています。外界からの情報量が減少することで当事者の Quality of Life (QOL) は著しく低下し、その困難を第三者に理解してもらうことの難しさが、QOL をさらに低下させる原因となっています。見づらくなる前の生活に可能な限り近づけ、総合的な QOL を向上するためには、ロービジョン外来において適切な視覚リハビリテーションや活用できる社会資源などについて情報提供し、患者さんの生活を支援することが必要です。本研究においては、埼玉医科大学病院眼科のロービジョン外来を受診した患者さんの背景と提供したケアについて分析し、視覚障害の程度とニーズの関係性および医療者側が提供したケアの種類について検討します。

この研究結果により、埼玉医科大学病院眼科に対して求められているロービジョンケアの内容を把握し、地域のロービジョンケアを担う大学病院としてさらに取り組むべき課題が明らかになる可能性があります。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年1月29日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、視力、視野、疾患名、身体障害者手帳等級、取得した視覚補助具および情報機器

の種類、ロービジョン外来受診回数

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である橘 緑が、個人が特定できないように加工したうえで管理致します。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

ロービジョン外来を受診した患者さんの受診記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 眼科 橘 緑（研究責任者/視能訓練士）

埼玉医科大学病院 眼科 村田 江理奈（視能訓練士）

埼玉医科大学病院 眼科 蒔田 潤（医師/准教授）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 准教授 蒔田 潤

住所：〒350-0495 埼玉県毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1295（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：ロービジョン外来を受診した患者さんの背景とケアの調査

○研究責任者：埼玉医科大学病院 眼科 視能訓練士 橘 緑